



第9回

日本小児科学会倫理委員会

公開フォーラム

今日、いのちをめぐる様々な倫理問題が、医療現場はもとより、社会的にも大きな関心事となっています。この度、日本小児科学会倫理委員会では、特に2つのテーマを取り上げることで本フォーラムを企画いたしました。

第I部のテーマである新型出生前診断は、小児科医にとって、もっと身近な問題であるべきはずですが、十分な情報の把握や必要な議論が出来ていないのが現状です。また、第II部のテーマである小児の看取り医療は、患児とご家族への配慮はもちろんのこと、日々変わりゆく医療現場の要請に応えられる体制の構築が望まれています。

本フォーラムでは、各分野で活躍される方々からの報告を通して最新の情報を広く共有し、参加者の皆さんとともに思索を深めたいと願っています。

開催日：平成27年3月8日(日) 13時～17時(開場12時30分)

場所：東京医科歯科大学M&Dタワー 2階
鈴木章夫記念講堂

JR中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋口より徒歩5分
東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅下車 1番出口より徒歩3分

定員：500名(どなたでもご参加できます)

参加費：無料(事前登録制)

申込方法

下記1～5をご記入の上、

メールにて「jps-seminar@jped.s.or.jp」までお送りください。

表題は「第9回日本小児科学会倫理委員会公開フォーラム申込」としてください。

1. 氏名 2. 電話番号 3. メールアドレス
4. 医師/非医師 5. 会員(ID番号)/非会員
折り返し、事務局からメールで返信いたします。

小児科専門医
更新単位

3単位

お問い合わせ先

公益社団法人日本小児科学会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-5 第一馬上ビル4階
TEL: 03-3818-0091 FAX: 03-3816-6036

<http://www.jpeds.or.jp>



プログラム

13:00-13:05 開会挨拶 五十嵐 隆 (日本小児科学会会長)

13:05-13:10 本フォーラムの開催について 小川 俊一 (日本小児科学会倫理委員会委員長)

13:10-14:55 第I部 出生前診断の現状を考える

座長：奥山 虎之 (国立成育医療研究センター臨床検査部)

河原 直人 (九州大学病院 ARO 次世代医療センター)

1. 「出生前診断：臨床遺伝医療の立場から」

川目 裕 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構人材育成部門)

2. 「出生前診断の現状と課題」

平原 史樹 (横浜市立大学附属病院病院長)

3. 「出生前診断の法律問題」

丸山 英二 (神戸大学大学院法学研究科)

4. 「プレネイタルケア充実に向けた提案」

中込 さと子 (山梨大学大学院総合研究部)

5. 「NIPTがもたらしたもの」

玉井 浩 (大阪医科大学小児科)

質疑応答と総合討論 (30分)

14:55-15:15 休憩

15:15-16:55 第II部 小児の看取り医療

座長：奥山 眞紀子 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学分野)

1. 「医療現場における臨床倫理・協働意思決定と事前ケアプラン」

船戸 正久 (大阪発達総合療育センター)

2. 「本人・家族をめぐる臨床倫理」

清水 哲郎 (東京大学大学院人文社会系研究科)

3. 「“誇らしい看取り”～長女の闘病を通して～」

山崎 光祥 (読売新聞福井支局)

4. 「小児におけるエンド・オブ・ライフ・ケアの理念と実践」

多田羅 竜平 (大阪市立総合医療センター緩和医療科)

5. 「子どもと家族によりそう在宅緩和ケア」

前田 浩利 (医療法人財団はるたか会)

16:55-17:00 閉会挨拶 河島 尚志 (日本小児科学会倫理委員会担当理事)